

2025年2月10日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 J M C

代表 者 名 代表取締役社長 渡 邊 大 知
兼 C E O

(コード番号：5704 東証グロース)

問 合 せ 先 経 営 企 画 室 長 倉 嶋 崇 博
(TEL. 045-477-5751)

ギガキャスト試作を含む大型製品の生産能力を強化

低圧鋳造炉の増設・大型プラストルームの導入のお知らせ

職人の技とデジタル技術の融合によって高品質な鋳造品製造を行う株式会社 JMC（神奈川県横浜市 代表取締役社長兼 CEO：渡邊大知）は、2025年2月にコンセプトセンター（長野県飯田市、鋳造工場）第8期棟に、大型低圧鋳造炉および大型プラストルームを導入いたしましたことをお知らせいたします。

1. 導入の背景

近年、自動車業界においてギガキャスト（※）で話題になったアンダーボディ（車体下部の骨格）やサスペンションメンバー（車体と車輪をつなぐサスペンションの骨格）などの足回り部品を、分割せず一体のアルミ鋳物で製造するニーズが高まっており、当社においても2023年より多数の大型部品試作を請け負っています。これらの部品は自動車のなかでも性能や安全性に直結する重要な役割を果たすことが多く、高い鋳造品質を求められます。

当社ではこのような試作ニーズの変化にいち早く対応するため、2023年にはギガキャストクラスの鋳物に対応する大型鋳造炉（定盤面積 2,000mm × 2,000mm、溶解重量 500kg）を導入し、大型試作品の供給体制の整備にいち早く着手してまいりましたが、今後、量産に向けたニーズも拡大することを予想しており、さらなる生産能力の強化を目的に設備増強を実施いたしました。

2. 導入生産設備について

低圧鋳造炉は現在保有している大型炉相当の規模（定盤面積 2,060 × 1,900mm、溶解重量 約400kg）を1基増設いたしました。これにより鋳造サイクルの改善を図り、生産上のボトルネックを解消します。

大型ブラストルームは、最大ワーク寸法 2,000×1,500mm、最大ワーク重量 150kg まで対応可能な仕様となっており、当社現有設備による最大サイズを大幅に引き上げることになります。一般的なブラスト装置は、作業者が装置外から手を入れて処理を行いますが、ブラストルームは防護服を着用した作業者が装置内で処理を行います。鋳造品製造において表面に付着した砂の除去や改質効果を得るブラスト処理は欠かせない工程であり、ブラストルーム導入によって大型鋳造品のブラスト処理効率の飛躍的な改善を実現します。また、今般導入した不二製作所製ブラストルームは、風力循環によって研磨剤や粉じんの分級が可能で、一般的なブラストルームで課題となる噴射後の研磨剤の分別回収作業を不要としており、生産効率の向上に大きく寄与するものと考えています。

当社はこれらの設備増強と大型鋳造品製造のノウハウの蓄積によって、2025 年内にギガキャストクラスの大型製品で月 100 台以上の生産キャパシティの獲得を目指しています。自動車メーカーおよび部品メーカーが課題としている少量多品種の生産において、また、「Xin1」の広がりにより進む鋳造部品の複雑化に対して、「砂型鋳造による大型鋳造品」という新しい価値を提案し、販売促進に努めてまいります。

※ アルミダイキャスト（鋳造）で車体全体を一体成形する技術のこと。圧倒的な部品点数の削減により、工数削減・コスト低減に繋がる工法として、今後、自動車業界での導入が進むものと見込まれております。

【設備の概要】

所在地 : 長野県飯田市伊豆木（コンセプトセンター第 8 期棟）

投資額 : 約 1 億円

対応素材 : アルミニウム合金

製造品 : 自硬性砂型による低圧鋳造部品

【ギガキャスト試作に関する当社 WEB サイト】

<https://www.metal-casting.jp/giga/>

【当社概要】

1999年、光造形方式の3Dプリンターを導入して製造業に参入。3Dプリンター出力による部品製造の事業規模が拡大する中、2006年に有限会社エス・ケー・イーを吸収合併し、砂型鋳造法による鋳造事業をスタート。3Dプリンターで培ったデジタル技術を背景に、職人の肌感で語られることが多かった鋳造を定量化することで、経験年数に依存せずに質の高い鋳造ができる事を証明。業界に新たな進化を起こした。2015年には産業用CTによる非破壊検査・測定を目的としたCT事業を開始。さらに、心臓カテーテルシミュレーター『HEARTROID』の販売でメディカル分野にも領域を広げた。2016年東京証券取引所マザーズに上場（2022年の東京証券取引所の市場区分見直しに際して「グロース市場」を選択）。2021年からは、保有する技術力を生かして旧車のレストアパーツ製造・販売を開始した。

所 在 地：神奈川県横浜市港北区新横浜2-5-5住友不動産新横浜ビル1F

代 表 者：代表取締役社長兼CEO 渡邊大知

設 立：1992年12月18日

資 本 金：817,533千円

売 上 高：3,640百万円（2023年12月期）

従業員数：174名（2023年12月末 臨時雇用者を含む）

事業内容：産業用3Dプリンターおよび砂型鋳造による試作品、各種部品・商品の製造、販売
産業用CTの販売および検査・測定サービス、医療機器等の製造・製造販売

U R L：<https://www.jmc-rp.co.jp/>

【本件に関する問い合わせ先】

株式会社JMC 経営企画室

TEL: 045-477-5751 E-MAIL: ir@jmc-rp.co.jp